

令和4年度 埼玉大学一般選抜後期日程及び私費外国人留学生選抜  
理学部数学科、基礎化学科、分子生物学科の試験問題における出題ミスについて（お詫び）

令和4年3月12日（土）に実施しました本学一般選抜後期日程及び私費外国人留学生選抜理学部数学科、基礎化学科、分子生物学科の入学試験において、理科（化学）（理学部）に下記のとおり出題ミスが判明しました。

対応といたしまして、受験生の知識と理解度によって正答が異なる問題であったと判断し、該当問題部分については採点から除外し、残りの解答を100点満点で採点することとしました。

受験生をはじめ、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後、このような出題ミスが起こらないようチェック体制の強化等、再発防止に万全を期して参ります。

## 記

## 理科（化学）（理学部）

該当箇所	化学問題 1 (e) の設問（3ページ上から7行目）
出題ミスの内容	<p>大問1 設問 (e) において、 「…③<u>金属イオンを含む水溶液に硫化水素を通じると硫化物の沈殿が生じる。</u>」 下線部③の沈殿生成が次の条件 (A) または (B) に当てはまる金属イオンを以下のイオンからそれぞれすべて選択して答えよ。なお、以下のイオンには (A), (B) のどちらにも該当せず、硫化物の沈殿を生じない金属イオンも含まれる。 〔条件〕 (A) 水溶液の pH にかかわらず硫化物の沈殿を生じる金属イオン (B) 酸性水溶液では沈殿を生じず中性・塩基性水溶液から硫化物の沈殿を生じる金属イオン 〔イオン〕 <math>\text{Ag}^+</math> <math>\text{Ba}^{2+}</math> <math>\text{Ca}^{2+}</math> <math>\text{Fe}^{2+}</math> <math>\text{Pb}^{2+}</math> <math>\text{Zn}^{2+}</math></p> <p>との問題を出題したが、 条件 (B) において、高校の教科書では <math>\text{Fe}^{2+}</math> と <math>\text{Zn}^{2+}</math> が中性・塩基性溶液でのみ沈殿が生じるイオンと紹介されているが、実際には <math>\text{Zn}^{2+}</math> は弱酸性水溶液の場合でも条件によっては沈殿がおきてしまう。これは発展的知識を有すれば導き出せるので、受験生の知識と理解度によって正答が異なる問題となっていた。加えて、条件 (B) への解答が、条件 (A) の解答を考えると影響を及ぼすことから、設問 (e) は採点から除外する必要が生じた。</p>

令和4年3月17日

埼玉大学長 坂井 貴文